

夏季県高校
野球大会

光星猛攻 14安打17得点

黒商、主導権を握れず涙



【八学光星—黒石商】5回表、八学光星無死一塁、松田が二盗を試みたがタッチアウト。遊撃手は黒石商の齋藤＝ダイシンベースボールスタジアム

【評】14安打の八学光星が五回コールド勝ちした。初回、二四球と敵失で満塁となり、中山の二ゴロ、大草の犠飛、森下の左前適時打で3点を挙げ、黒石商は四回に1点、五回にも佐藤真の右前適

時打などで2点をかえしたが、相手投手陣を攻略できなかった。【ミス修正していく】持ち前の打力を発

揮した八学光星。2安打3打点と勝利に貢献した。主将中澤は「しっかりと得点できたことはよかった」としながらも「守備や走塁のミスがあった。高いレベルになると、一つのミスが命取りになるので修正していきたい」と気を引き締めた。仲井監督は「経験の少ない子たちだから緊張していたと思う。ベンチに入る3年生で勝ち上がった。いきなり」と力強く語

弘工打線 終盤に爆発

野辺西、食らいつくも不発

野辺地西は2点を追う佐藤らの適時打で追い付く五回に主砲西野、5番いたが、後が続かなかった。

【評】弘前上の打線が5安打4得点、八回には終盤に爆発し、コールド1死満塁から1番溝江が勝ちを取った。同点に追った左中間に走者一掃の3点い付かれた六回に犠飛な適時二塁打を打ち、一気に勝ち越すと、七回に突き放した。